

いく はだ りよく
「育肌力」を研究し、製薬会社発想で開発したスキンケアライン

- ターゲットは
 流行に左右されず、本質を見抜く選択眼を持つ30～50代の女性。
 何ごとにも前向きに取り組みながら、生き活きと生きる女性たち。
- ブランドコンセプトは
 肌本来の機能を喪失した肌を正常化し、さらに若々しい肌へ導くために、
 肌が本来持つ育つ力「育肌力」を引き出すスキンケアライン「リアルラボ」。
- ネーミングコンセプトは
 『Reality』+『Laboratory』
 製薬会社として確かな実感をお約束する意味の「Reality (本質)」と先端技術
 の目利きができる「Laboratory」からの創語。

対症療法(※)ではないスキンケア製品の開発

スキンケア製品の開発にあたって、当社では生活者ニーズに関してマーケティングリサーチを行うとともに、肌本来の機能をはじめ、製薬会社の視点で肌トラブルのメカニズムについての研究を進めてきました。

その結果、生活者からのニーズが高い「くすみ」「ハリ不足」「乾燥」「年齢線」といった肌トラブルは、肌が本来持つ「育肌力」が衰えたために、肌の内部でさまざまな変化が起こり、肌の状態が悪化することが原因だとわかりました。

そこで、当社では製薬会社としてのノウハウを活かし、「育肌力」をアップすることで個々の根本的な原因を改善できるようなスキンケアの開発に着手。スキンケア原料分野でのグローバルリーディングカンパニー、BASF Beauty Care Solutions(フランス リヨン)とのコラボレーションにより、有効な成分をトラブル部分へ浸透させ、「育肌力」を高めるスキンケア製品を完成させることができました。

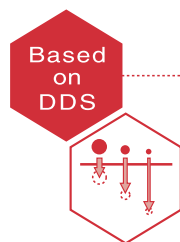
「リアルラボ」は一時的な肌の改善ではなく、ターゲット女性のニーズに応え、効果を実感できる製品ブランドをめざしています。

※対症療法：熱が出たら解熱剤、痛みには鎮痛剤、咳に咳止めというように、「病気を根本から治す」のではなく、病気の不快な「症状だけを一時的に和らげる」治療法。

◆ **特徴：**

① **Based on DDS (DDS技術に基づいた高い浸透力)**

肌の構造に合わせて、必要な成分を必要な量だけ肌機能の低下の原因部分（角質層）に“ねらって送り込む”働きをします。



ドラッグ・デリバリー・システム (DDS)

- **必要な部位に**
 先端技術ナノテクノロジーで有効成分を超微粒子化。届けたい部位へしっかり浸透させます。
- **必要な成分を**
 研究やテストを繰り返し、厳選した成分を配合しています。
- **必要な量だけ**
 肌の育つ力を引き出し、高めるために、適正な量の微粒子化した成分を配合しています。

② **「育肌力」のアップ**

肌の衰えを一時的にくい止めるだけでなく、肌が本来持つ育つ力「育肌力」を高めます。